

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	事業所番号	3990100210
法人名	法人名	医療法人 仁照会
事業所名	事業所名	グループホーム ほっと館
訪問調査日	訪問調査日	平成 20 年 2 月 14 日
評価確定日	評価確定日	平成 20 年 5 月 19 日
評価機関名	評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3990100210		
法人名	医療法人 仁照会		
事業所名	グループホーム ほっと館		
所在地 (電話番号)	高知市春野町秋山1599-1 (電話) 088-894-6880		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年2月14日	評価確定日	平成20年5月27日

【情報提供票より】(平成20年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 12 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 5 人, 非常勤 13 人, 常勤換算 13.6人	

(2) 建物

建物形態	併設/ 単独	新築 /改築
建物構造	木造 造り	
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000~40,000円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷 金	有(60,000 円)		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 40,000	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(2月 14日現在)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	0 名	要介護2	5 名		
要介護3	10 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	73 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	はるの森澤クリニック・さくら病院・山崎歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者の慣れ親しんだ恵まれた環境で、散歩や買い物、ドライブなど外出の機会を多く設け心身の活性化を心がけた取り組みがみられる。利用者から敷地内の畑での作業や家事などの中で、経験や知恵を伝授される場面も多く、和やかに共に暮らしている様子が窺える。居室の雰囲気も家族の協力を得たり、職員の創意工夫でその人らしい和みを感じる居心地の良い空間となっている。このことは今後も家族への声かけ協力をお願いし又職員がアイデアを出し合って、引き続きよりよい居室づくりに取り組まれることを期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>口頭での報告と取り組みで、改善計画に基づいたものではない。従って実践の記録もなく進捗状況も分かりにくい。報告による改善点と照らし合わせても①介護計画に関する事項②食事を楽しむ支援③入浴支援④家族への報告など、現在取り組み中のものであるが、再度検討を期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>理事長を含め3事業所の全体会で今回の自己評価について話し合いを行っている。各事業所で職員に評価表を渡し、職員も意見、所見を書き込み、各ユニットの代表者が取りまとめ、それを管理者がまとめる方法で全員での取り組みが行われている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>これまでの会議では、事業所の事業報告や行事予定の報告に止まっており出席者からの意見は少ない。前回の評価報告は行っているが特に意見も出ていない。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>日頃の情報交換は来訪時、電話などで行われている。現在は家族会は設けていない。行事の後などに話し合いの場を持ったことはあるが家族からの意見はあまり出ていないが、職員に直接家族から意見が出され、課題を検討し計画に加えるなど取り組んだケースもある。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>春野町のオールドパワー展に作品を出品したり、民生委員(運営推進委員)から行事への招きがあり利用者全員が参加している。公民館で行われている健康体操に1名の利用者が参加したり、避難訓練への協力をお願いするなど働きかけがあるが、町内会には加入しておらず受身的な交流になっている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 当法人が運営している三事業所の運営理念は同一であるが、ほっと館では独自に文言を追加して理念としている。 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 ケア会議や、毎日朝夕の申し送りの際等に話し合いをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 利用者に接する姿勢や言葉遣い(投げやりな言葉遣い、大きな声を出さないなど)は特に日々注意し合っている。記録からも利用者への尊重の思いが伝わる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 地域住民との様々な交流は見られるが町内会には加入していない。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 町のオールドパワー展に利用者の創作品を出品したり、行事にも招かれ参加するなど交流がみられる。	○	地域住民との交流は行っているが、地域とつながりながら、ともに暮らす地域住民の一員として、地域で必要とされる活動や役割を担っていくためにも、町内会に参加することが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 はじめに運営者を含めた話し合いを行っている。その後全職員に自己評価表を配布し職員の意見をユニットの代表者がまとめ、ホーム長(所長)が取りまとめ作成している。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の評価については評価実施後に職員に結果を見せ、改善点については口頭で取り組みを指示しているが、改善計画などは作成していない。	○	評価前には話し合いを行い全員での取り組みが見られるが、評価後も改善点などを話し合い検証して、改善シート等に基づく改善計画を立て、計画的に取り組まれることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 事業所から事業計画、事業報告など説明し、家族から質問が出ることもあるが、会議録を見る限りでは双方向的な会議とはなっていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。	○	運営推進会議に利用者の多くが出席している。サービスのことや評価の取り組みなどについて出席者からの意見や要望など率直な意見を引き出し、双方向的な会議になることが期待される。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 認定時の更新書類を持参したり、七夕祭り、忘年会など事業所の行事にも参加してもらうなど交流を多くするよう努力している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 来訪時には声かけを行い、家族との情報交換を必ず行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 毎月の家族向け「ミニミニ通信」に写真とコメントの書き込み欄を設けており、個別の情報を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 必ずホーム長を通じて電話連絡をしている。 <input type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 事業所で立替払し、後で請求をしている。使途については報告しているが領収書の添付と報告の記録がない。	○	立替払の使途は面会時や郵送で家族に明らかにしているが、領収書の添付や報告後の記録、また家族のサインが明確でないものがあるので、なお徹底を図られることが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 これまで行事の終了後などに話し合いの場をもったが特に意見や要望などは聞かれなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 これまで直接職員に家族から個別の苦情が聞かれたことがあったが、話し合いをもち課題の解決に向けた計画を策定し取り組んでいる。	○	現在家族会やそれに類した話し合いの機会は定例的には開かれていない。家族同士で意見、要望などを遠慮なく話せる機会をつくり、それらの意見等を率直に受け止め運営に活かしていくことは、事業所の質の向上にも繋がり、信頼関係も深まるため、検討を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 ユニット間での異動はあるが、日頃より馴染みの関係が出来ており、事業所内で交代して様子を見るなど配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修案内など情報は職員に伝わり、希望者が参加する仕組みで、パート職員も含め参加できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修会の資料を提出し職員会や朝夕の申し送り時に伝えたり、運営推進会議で報告を行っている。	<input type="checkbox"/>	研修計画書は作成されているが、パート職員も含め個々の職員の立場・経験・習熟度に応じた研修等の機会を計画的に確保されることが期待される。また、研修受講後の報告についても、メモで終わらず一部の職員がされているように報告書を別途作成するなど、全職員が共有できる仕組みづくりが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。	<input type="checkbox"/>	地域の他事業所と交流することで、多くの発見や当事業所の振り返りが出来たり、ネットワークができる機会ともなるため、地域の事業所と交流や連携されることが期待される。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 家族やケアマネ、病院関係者など本人を取り巻く多くの関係者からの情報収集に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 管理者とホーム長が面接を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 夜勤の時などゴミ集めを手伝ってくれたり、時には必要な備品を持ってきてくれるなど自然に協力し合っている場面がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 特に調理の仕方、畑仕事、花作りなど教わる場面が多くみられる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 その日その時の利用者の思いを大切に考え把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 概ね声がけをしながら表情などから反応をみて知り得る事が多いが、家族の面会時に聞くこともある。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 プラン作成や見直し時に伺っているが、本人や家族からの要望、気づき等はあまり聞かれていない。要望があったといわれる事例についても計画に反映されていない。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 担当制で、その日参加できる職員で行っている。モニタリングは記録されていない。	○	事業所が作成した計画書は、家族の同意は得ているが、利用者や家族からの要望などが出にくい状況で作成されることが多いため、日頃の関わりの中で思いや意見を聞き、反映させる工夫が望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 3か月に1回のモニタリング、6か月に1回見直しを実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 変化が見られたときには計画を追加している。 <input type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。	○	個別に変化が生じた場合或いは正規の計画作成時でも、課題によっては6か月より短期で設定し見直しをするのが適切と思われるケースもあるので、柔軟な期間設定が求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 主治医の定期的な受診や訪問看護なども活用し、生活の継続に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 家族と話し合い、柔軟に対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 主治医は、家族と話し合い納得の上母体の医療機関に変更している。専門科には継続して受診の支援ができています。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 家族同伴の受診については、帰所時に薬の情報を含め報告があり日誌に記録している。事業所が対応の場合は、特に変化のない場合には事後の報告はしていない。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 細部にわたる対応方針は定めてないが、ケアのあり方などを話し合い、容態の変化に伴って家族、医師、看護師、職員で話し合いを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 過去に、家族が県外在住の利用者で看取りをした事例もあり、本人、家族の意向を踏まえ、家族が納得する支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 私的な場面で利用者の話はしない事など、常日頃から注意をするよう徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 採用時に個人情報保護を説明し誓約書に署名をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 自発的にしたいことを訴えることは少ないので、声かけをし散歩や買い物にでかけたり、お遍路さんを見て「お寺に行きたい」と言われ対応するなど柔軟に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切にしている。 好みの献立を聞いたり、その人の意志や力に応じて食材の下拵えや食器拭きをお願いするなど配慮している。 <input type="checkbox"/> 職員は食事の介助に止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 2つのテーブルのうち1名の職員は同じテーブルで同じ食事を摂っているが、他の職員は手持ちのお弁当を食している。	○	以前は全職員が利用者と一緒に同じものを食べていたということであり、今一度利用者と職員が同じ食卓を囲んで同じものを食べ、食事を共に楽しむという環境づくりについて前向きに検討されることが期待される。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 1週間のうち全入浴が実施されていない曜日が毎週のように見られる。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりに合わせた入浴支援を行っている。 週に1回又は10日に1回の入浴回数の方もいるが、拒否をされる利用者にも言葉かけやチームプレイで支援している。	○	明らかに曜日によって入浴の無い日が見られたため、利用者の一人ひとりの生活習慣やその時々希望を聞き、個人にあった入浴支援について、話し合われることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 生活歴や家族からの情報、本人からの聞き取りまた日常の暮らしの中などから把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 職歴(で培った経験や知恵を食材の下拵え、配膳、下膳等や畑仕事のなかなどにも発揮できる場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 紙会社に勤めていた利用者にはトイレトーパーを畳む作業を勧めたり、その人にとっての新たな役割や楽しみを模索し引き出す支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 お決まりの店舗に出かけたり美容院に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 勤めても出たがらない利用者も数名いるが、ほとんどの利用者は外に出かけるよう支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 天気の良い日は毎日のように散歩に出掛ける。また近くの2店舗に買い物に出かけたり、時々のドライブなど外出支援が出来ている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出傾向のある利用者の行動パターンを把握して、後ろから見守っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 地域の農作業をしている方から野菜の育て方を伝授してもらうなどの関係もあり、理解が得られている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。	○	災害は何時、どんな時間帯で襲ってくるか予想できないだけに、日ごろより、地域住民等と連携を図りながら避難訓練等を実施することが望まれる。運営推進会議委員の地域住民代表者をお願いするなど地域住民の参加、協力を得ることを期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 各ユニットの調理代表者が献立に偏りのないよう配慮しながら利用者の好み、食べたい物などを話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 同法人のデイサービスの栄養士に毎月チェックしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 2階は狭いながらも調度品に囲まれ我が家のように談笑し過ごしている。内から見える外の景色が開放感を与え安らぎと居心地よさを感じる空間になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 春野町のオールドパワ展に出品した利用者創作の大作が壁に飾られていたが、その他に家庭的な雰囲気を損なったりする飾りつけなどなく落ち着きがあった。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 雛飾りがあったり、桜草や梅の花が飾られていた。旬の食材を多く取り入れ今日は白和えに干し柿を添え職員の配慮が窺える。3月の雛祭りのカレンダー作成中である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 使い慣れた見慣れた家具(箆笥、鏡台、椅子、ソファ、ベッドなど)をおき写真や花瓶に花を飾るなど温かく居心地の良い居室づくりに家族の協力が見受けられた。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 少しさびしい居室にも壁に手作りの装飾や表彰状を飾ったり、利用者の気持ちが安らげる雰囲気づくりに取り組まれている。		